

## 第7回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

### 【1】東海第二原子力発電所の再稼動に関する村の対応について

- ・東海第二原子力発電所はあと4年程で通称40年ルールに該当する。個人的な意見としては、新規制基準には適合すると思うが、東海第二原子力発電所安全対策首長会議ができたことで、意見をまとめるのに時間がかかると思う。
- ・原電が村民の理解を得るには、震災以降の経過など、東海第二原子力発電所の情報を開示するべきだ。そうすれば、村民もより身近かつ真剣に考えるのではないか。
- ・そのためのために、行政側は操作手順に集中して知識を貯めこむなど、戦略を練るべきだと思う。技術者に集まってもらってもいいかもしれない。

#### ⇒ 【村長コメント】

- ・貴重なご意見だと思います。担当課にも伝えます。

### 【2】不要となった土の処分について、AEDのコンビニへの設置・役場からの無償貸出しについて

#### 《不要となった土の処分について》

- ・プランターなどで使用した不要な土に限定して、清掃センターで場所と時間を確保し、受け入れてもらえないか。
- ・清掃センターでは、土は受け入れないとのこと。区画整理の埋立てに使用してはどうかと思い、問い合わせたが、個人のは埋立てには使用しないとのことだった。
- ・現在、畑のある人はそこに不要な土を捨てているが、畑のない人は河川敷などに捨てているのではないか。見たことがある。

#### 《AEDのコンビニへの設置・役場からの無償貸出しについて》

- ・今年グラウンドゴルフ大会での死亡事故もあり、AED講習受講者も増えていることから、役場でもAEDの無償貸出しを検討してはどうか。また、コンビニへの設置を検討してはどうか。

#### ⇒ 【村長コメント】

#### 《不要となった土の処分について》

- ・担当課に確認し、後日回答いたします。

#### 《AEDのコンビニへの設置・役場からの無償貸出しについて》

- ・貴重なご意見として担当課に報告し、後日回答いたします。

### 【3】原子力発電所及び再処理施設からの距離表示について、煙のにおいについて

#### 《原子力発電所及び再処理施設からの距離表示について》

- ・電信柱等に海拔からの高さが表示されているが、同様に東海第二原子力発電所及び再処理施設からの距離を示してはどうか。各人が原子力発電所及び再処理施設からの距離を勘違いしていることが多いし、問題意識も高まるだろう。

#### 《煙のにおいについて》

- ・有害物質を燃やした煙のようなにおいがしていると思う。清掃センターの煙突からではないか。

⇒ 【村長コメント】

《原子力発電所及び再処理施設からの距離表示について》

・貴重なご意見ありがとうございます。担当課に伝えます。

《煙のにおいについて》

・清掃センターの焼却施設は平成 24 年度で停止していますので、それはありません。同様に煙のにおいに関する連絡・報告があるか、担当課に確認いたします。

【4】 いばらき国体に向けた道路の拡張について、防犯灯・街路灯について

《いばらき国体に向けた道路の拡張について》

・いばらき国体の開催が近づいているが、道路の整備・拡張を進めた方がいいと思う。

《防犯灯・街路灯について》

・自宅周辺もそうですが、東海村は夜、街路灯等が少なく、道が暗いように感じます。街路灯の数を増やして欲しいです。

・自宅周辺で消えたままになっている街路灯があります。そのほかにも、街路樹で街路灯等が隠れて見えにくいところもありますので対処して欲しいです。

⇒ 【村長コメント】

《いばらき国体に向けた道路の拡張について》

・国道 6 号の拡張は、笠松運動公園が陸上競技等の開催場所になっているので、村内部分も拡張を要望しています。しかし、予算の関係もあり、日立市内が先に行われている状況なので、引き続き要望したいと思います。

・国道 245 号の拡張は宿地区で始まっているように、徐々に行っています。家屋移転後に拡張が始まりますが、こちらは国道6号より終了が早いと考えています。

・村内の道路は凹凸があるとところも多く、避難道路としての役割も考えて、計画的に修繕をしていきたいと考えています。

《防犯灯・街路灯について》

・街路灯が木で隠れたりすることで明かりが遮られている場合、景観の問題等もあり、剪定のタイミングが難しいところではあります。

・街路灯については、自治会要望等で出された箇所に順次対応していますが、必要があれば、村の担当課に伝えて欲しいと思います。

【5】協働のまちづくりについて

・先日、ボランティア連絡協議会の研修会で、守谷市視察に行きました。守谷市には市民協働課というものがああり、市民が解決すべき問題について、行政が問題提起だけではなく、課題解決にまで関わっていました。そのなかで、予算化できるものは行政内部で時には横断的に取り組みを行い、それ以外に対してはボランティアなどが手弁当で行うなどしていました。これからは、行政と住民が協働し課題解決を行っていかねばならない。

・ボランティア連絡団体の養成に自治体が関わっており、市民協働課の下に、市民活動支援センターを設置し、嘱託職員を配置していました。

・守谷市のアンケートでは、約46%の人が地域課題が解決したと回答していたそうです。

⇒ 【村長コメント】

- ・先進地視察を行うことで、気付くことも多いと思います。
- ・ボランティア団体間での交流会がある場合は、参加したいと思います。

**【6】 街灯について、デマンドタクシー「あいのりくん」の運転手について、  
役場代表番号に電話をかけた際の応答について**

《街灯について》

- ・自宅周辺が暗く感じる。対応をお願いしたい。

《デマンドタクシー「あいのりくん」の運転手について》

- ・いいサービスだと思うが、お年寄りに怖いという印象を与えてしまう運転手がいる。

《役場代表番号に電話をかけた際の応答について》

- ・引っ越して20年ほど経つが、役場代表番号にかけると、語尾を伸ばした対応をされる。ハキハキ言うのがビジネスマナーだと思う。

⇒ **【村長コメント】**

《街灯について》

- ・街灯については、自治会要望等が出された箇所について計画的に対応しているが、全てに対応出来てはいません。

- ・暗くて不便な場所を把握するよう、職員にも夜歩いてみるよう伝えているところです。

《あいのりくんの運転手について》

《役場代表番号に電話をかけた際の応答について》

- ・貴重なご意見ありがとうございます。担当課に伝えます。